

子ほめ条例(児童表彰
条例)発祥の地から全国
へ向けてのメッセージ

11月23日(月)、山梨県山梨市で「子どもをほめて育てる研究会IN山梨市」が開催されました。

この研究会は、「子ほめ条例」の制定を目指す全国の市町村をめぐりながら、毎年開催されているもので、今年度はシンポジストとして古口紀夫教育長が参加しました。



下野市は、児童表彰条例(こほめ条例)の発祥地としてばかりではなく、合併後も継続して実施している市として全国から注目されています。子ほめ条例は、市内の小学生全員が卒業までに必ず1回表彰を受けるといふもので、子どもたちの発達に必要な不可欠な自己肯定感や安心感などを、

市が行政施策として全市的に行っていくという、他に類を見ない先進的な取り組みです。同会場内で行われたポスターセッションでも、未制定の市町から、設置理念や実施方法について質問がよせられました。今後全国にこの「子ほめ条例」が設置されることを願い、引き続き啓蒙啓発運動を行っていききたいと思っております。

市民力養成講座
「あなたにもできる
『まちづくり』講座」開講

地域活動の推進のため、市民一人ひとりがまちづくり活動に参画してもらえるように、まちづくりの知識や技術を学んでもらう講座を開講しました。

特に団塊世代の方が地域デビューを果たしていくきっかけになればと企画しました。第1回目は「まちづくり…次の世代に残すもの」として、白鷗大学教育学部教授の結城史孝先生から、下野市のいいところ、問題点、孫たちに残したいものなどについて、ゼミナール形式の講義を受けました。第2回目は、市内で活躍している団体の活動内容について



て、事例報告を聞きました。発表してくれたのは、下野葉師寺ボランティアの会、木を知ろう森を知ろう会、天平の丘観光ボランティアの会の皆さんです。第3回目 1月16日(土)は、実際に市内各施設へ、まちづくりの魅力さがしに出かけます。

全4回の講座で、最終回 2月6日(土)はまちづくりのノウハウを学びます。講師は、宇都宮大学教育学部の陣内雄次先生です。共に午前10時から、生涯学習情報センター集合です。途中参加や、単発での受講も可能ですので、まちづくりに関心のある方は、生涯学習課(☎52-1119)までご連絡ください。

とちぎ海浜自然の家主催
「海浜の旬・あんこう」
参加者募集

海の旬の味覚を味わい、季節を感じながら、親子や家族仲間とのふれあいを深めませんか?

期日 2月13日(土)～14日(日)

内容 あんこうの吊し切り実演・海浜あんこうワルトラクイズ・塩づくりとつぼ焼いも・貝笛づくり・サンドプラスチックづくり ほか

夕食のメニューにあんこうを使った料理が入ります。

対象・募集人数

栃木県民一般 約250名

参加費

大人 4,810円

高校生 3,420円

中学生 2,680円

小学生 2,480円

3歳以上 1,680円

3歳未満 380円

夕食の特別食、2日目の昼食希望の場合、別途料金が加算されます。

●申し込み

はがき・FAX・電話にて問い合わせ先までお申し込みください。

はがき・FAXの場合は、郵便番号・住所・電話番号・

2月28日(日)

●資料請求・問い合わせ先

放送大学とちぎ学習センター

☎028(632)0572

放送大学ホームページでも受け付けています。

放送大学
4月生募集

放送大学では平成22年度第1学期(4月入学)の学生を募集しています。

放送大学はテレビ等の放送を利用して授業を行う通信制の大学です。

心理学・福祉・経済・歴史・文学・自然科学など、幅広い分野を学べます。

働きながら学んで大学を卒業したい、学びを楽しみたいなど、様々な目的で幅広い世代・職業の方が学んでいます。

●出願締切

2月28日(日)

●資料請求・問い合わせ先

放送大学とちぎ学習センター

☎028(632)0572

放送大学ホームページでも受け付けています。